



愛知県保護者会たより

平成 29 年度愛知県保護者会第 24 回定期総会開催

文責 会長 石井 勝
写真 顧問 深見 和義

平素は、愛知県保護者会へのご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

本会では、平成 29 年 5 月 27 日（土）名古屋国際センター 5 F 第一会議室に於いて、「平成 29 年度日本体育大学愛知県保護者会第 24 回定期総会」を開催しました。

今年度より、定期総会に先立ちまして本会では初めての試みとなります「第 1 回個別相談会」を 10 時より開催しました。

相談会は一昨年より本部の意向で各支部開催して欲しいとのことでしたが、愛知県は総会の時間が長いため時間が取れない等の理由で先送りしてきました。しかし、今年度は深見前会長が必ず開催すると宣言しまして、私も協力して第 1 回の開催を実現することができました。当日は、学生支援センターの石川優志様と河合朝晴特別教授にお越し頂き、学生生活と教員採用試験対策の 2 本立てで行いましたが、予想以上に盛況で 10 時から 12 時までの 2 時間の枠では終わることができませんでしたので、定期総会途中から引き続き相談会を行いました。



会場入口



本部保護者会 貝塚昌通会長

定期総会は、13 時より私の開会宣言にて開会しました。はじめに深見会長（平成 28 年度）の挨拶から始まり、ご来賓代表で本部保護者会会長 貝塚昌通様、法人事務局事務長 尾関庸一様からご祝辞をいただきました。

ご来賓列席者として他に、本部保護者会北信越東海ブロック代議員 荒川喜峰様、大学より体育学部武道学科長 齋藤一雄教授、教育実習指導担当 河合朝晴特別



法人事務局 尾関庸一事務長

教授、学生支援センター健志台事務室 石川優志様、愛知県同窓会より会長 波多野壽様、理事長 藤原照明様、溝口夏樹様、石場健也様、ファンクラブ愛知の会より副会長 山口 博様、顧問 岩本和義様、顧問 加藤眞澄様、



第96回 日本体育大学 愛知県保護者会たより

発行日 平成29年7月10日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝

顧問 伊藤正幸様、顧問 高野 徹様、前代議員 大見 学様、及び前川京子様、吉田 徹様、中村光司様にご出席いただきました。

ご来賓紹介後、深見会長を議長に選出し議事の進行が行われました。愛知県保護者会会則改定の承認から始まり、平成28年度活動報告、決算報告そして平成29年度役員改選と活動計画案、予算案の承認を得ることができました。記念講演会では齋藤教授による「自身の競技歴と日体大相撲部監督として」と題しての講演が開催されました。その後、健志台事務室の石川様による「学生生活について」、河合特別教授による「教員採用対策について」、愛知県同窓会の藤原理事長による「地元就職対策の具体的な取組」をお話して頂きました。また、同窓会の会員である溝口夏樹様、石場健也様のお二人が経験された就職対策と就職後の状況などを、溝口様は刑務管、石場様は消防士という立場から実体験の話をお話しました。現実的で新鮮な内容を丁寧に話していただき大変参考になりました。



[総会の様子](#)



[総会の様子](#)

総会閉会后は、25Fの東天紅にて懇親会が開催されました。講演をいただいた大学関係者、愛知県同窓会、ファンクラブ愛知の会及び保護者の皆様を交え、日体大の話題、ご子息・ご息女等の近況のお話で大変盛り上がりしました。今回より「新入生保護者歓迎会」も兼ねて開催しましたので、新入学生保護者の紹介も行いました。その後、全員で「日体大グッズ獲得じゃんけん大会」を開催し大変盛り上がりしました。

残念ながら今回ご出席頂けなかった保護者の方々も、次回の総会には是非ご出席して頂き

大学、同窓会からの情報を聞く機会を得て頂くと共に懇親を深め子供達の将来のため役立てて頂ければ幸いと存じます。

今後とも、愛知保護者会へのご理解ご協力を宜しくお願い致します。今年度も色々な行事を計画しておりますので多数のご参加の程、宜しくお願い致します。



[ご来賓の皆様](#)



平成29年度 愛知県保護者会 新役員 (敬省略)

役職名	氏名	学年
会長	石井 勝	4年生
筆頭副会長	山岡 洋海	3年生
副会長	永田 敦士	2年生
副会長	片山 達仁	1年生
書記	加藤 美佐	3年生
書記	酒井由美子	2年生
会計	安藤 郁美	2年生
会計	白銀 恭子	1年生
監査	山田 泰弘	4年生
監査	彦坂 章代	3年生
幹事	木村 典子	3年生
幹事	中村 貴文	2年生
幹事	久保田竜弥	1年生

名誉顧問	本多 整	
顧問	深見 和義	
北信越東海ブロック代議員	荒川 喜峰	4年生



総会後の記念撮影



定期総会 記念講演会

筆頭副会長 山岡 洋海

「平成 29 年度日本体育大学愛知県保護者会第 24 回定期総会 記念講演会概要」

講師 日本体育大学 体育学部 武道学科長 齋藤一雄様
演題 「自身の競技歴と日体大相撲部監督として」



[山岡洋海筆頭副会長](#)

本年度の定期総会記念講演会は講師として、スポーツ文化学部 武道教育学科の齋藤一雄教授をお招き致しました。齋藤教授は日本体育大学大学院体育学研究科（修士課程）修了体育学修士（日本体育大学）博士（医学）（弘前大学）という経歴をもたれています。また、全国学生相撲選手権大会では平成 19 年、20 年、23 年、26 年と日本体育大学相撲部を優勝に導きました。当日も二週間後にある東日本大学選手権大会の試合に向けて、午前中の指導を終えてから名古屋の地までお越しいただきました。日々多忙な中、定期総会記念講演会講師を引き受けて頂きましたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。講演では自己紹介、日々の指導者としての想い、また学生とのエピソードなど様々なお話をしていただきました。

（以下 齋藤教授）

私は昭和 43 年東京都立川市に生まれ、実家は青果店を営んでおりました。古くから地域では相撲が盛んなこともあり、体が大きかった私は父親の勧めで小学校一年生から相撲を始めました。週に一回土曜日の練習がきつく辛かったのですが、小学校 4 年生から本格的に始め 6 年生で立川市の大会で優勝して勝つことの喜びを知りました。その後通っていた立川道場に來られた中学校の先生からの相撲での進学とのお誘いもあり、明大中野中学校に進学しました。中学、高校も日々練習がきつく、また先輩、後輩との規律も厳しく大変辛かったものです。

中学では全国中学校大会で団体優勝、高校では、1 年、2 年、3 年とインターハイ団体優勝、1 年、2 年と国民体育大会で個人優勝をし、五大タイトルを優勝でかざり歴代ベスト 5 に入る成績を挙げました。その頃から将来は指導者になりたいとの思いがあり、本来であれば明治大学進学の道がある中でも、あえて日本体育大学に進学しました。大学では、1 年生でタイトルも取り実力もつけ



[武道学科長 齋藤一雄教授](#)



ていきましたが、2年生の時に肝臓病、糖尿病と思われぬ病にかかりました。これまでは優勝候補といわれていましたが、体重も減り今まで勝っていた相手にも負けてしまい悔しい思いの中、「これまで辛く苦しいこともあったけれど、自分には相撲があったからこれまでくることができた。このままでは終われない」と思い、心機一転規則正しい生活、食生活、厳しい稽古に励んだ結果、大学3年生では全日本選手権で優勝する事ができ、新聞には伏兵齋藤優勝と書かれました。その時まだ20歳そこそこでしたが、私が勝てなくなったとき手のひらを反すような人、それでも応援してくれた人などいろんな人の姿が見えるようになり人との接し方など考えるようになりました。



[講演会の様子](#)

4年生になり、キャプテンを仰せつかり、この年全国学生相撲選手権大会に於いて団体優勝を成し遂げました。今まで個人優勝は有りましたが、皆が一丸となり団体優勝できたその時の感動は今でも鮮明に覚えています。大学の卒業後プロになる道も有りましたが、やはり指導者になりたい思いが強く大学院に進みました。大学院ではバルセロナオリンピック金メダリストの古賀稔彦選手とよくお酒を飲んだりしました。その際、買ったばかりのポロシャツやTシャツ

に古賀選手が勝手にサインをしていましたが、今持っていればプレミアがついていたかも知れませんね。

大学院を卒業して大学で助手の仕事することになり、授業の助手をしたり相撲部のコーチをしたりして目標であった指導者としての日々を送る事になりました。しばらくして、当時の文部省（現文部科学省）から海外留学のお話を頂き一年間オーストラリアに留学することになりました。現地の人とのコミュニケーションを取るため英語の授業を受けたりして、相撲と離れた中での貴重な経験を致しました。現地では、当時は（インターネットもないので）ラジオの短波放送での週に一回流れる日本語の、のど自慢放送をよく聞いて過ごしたこと、日本語を聴くだけでホッとしていたことを思い出します。

一年が経って帰ってきましたが、大学にはまだ正式な立場はありませんでした。そんな時に青森県にある国立弘前大学医学部から助手として来ないかと当時の医学部長からお誘いを頂き医学博士の学位まで取得することが出来ました。

私が日本体育大学に正式に戻ったのは35、36歳の頃でした。22歳で大学を卒業、大学院を24歳、26歳で留学から帰ってきて大学で助手、非常勤講師を務め弘前大学での助手をしましたが生活をするには非常に厳しく生きることになり必死になっていました。職業安定所にも通い失業保険を手続きして生活していた時期もありました。その当時は苦勞しているなど



[学生支援センター 石川優志様の講演](#)



第96回 日本体育大学 愛知県保護者会たより

発行日 平成29年7月10日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝

思いましたが、今になればいい経験をさせてもらったなと思います。

今は大学で相撲部の学生部員 46 名をお預かりしています。もしも私が、ただ相撲が強かっただけで監督をしていましたら強い子の気持ちはわかって弱い子の気持ちはきっとわからなかったと思います。大学ではレギュラーになれない子たちでも、野球に例えれば地方ではエースで 4 番をはれるような子たちばかりです。その子達はエネルギーをいっぱい持っています。その子たちにいかに頑張ってもらうか、部員 46 名がいかに一丸となって日々の練習、試合に臨めるかがとても大切な事だと思っています。私が部員たちと接するのは一日 2 時間から 3 時間程度ですが、部員同士はその 5 倍、6 倍の時間を一緒に過ごします。その中で部員同士助け合うことの大切さ、目標を定め成し遂げた時の達成感を味わうことの必要性を日々指導しています。

私はよく学生たちに「勿体」という言葉の意味を知っていますか？と聞きます。例えば消しゴムの勿体は字を消すことであり、ペンの勿体は字を書くこと、洋服の勿体は着る事です。この「勿体」があるのに捨ててしまう事、それを勿体ないと言います。消しゴムで文字を消して消しゴムのカスを捨てても、ペンが書けなくなって捨てても、洋服がボロボロになって捨てても勿体ないとは言いません。勿体とはそういうことです。学生が大学で学べるということは親御さんや周りの人々に支えられているから出来ることです。学生たちが四年間経って、最後に勿体なかったなと思わないように、大学に来て良かった、日本体育大学に行って良かったと思えるような大学生活を過ごしてほしいと思います。私も生かされている限り、日本体育大学で教壇をとらせて頂き、これからも素晴らしい学生たちと出会う事を楽しみに頑張っていきます。

以上が齋藤教授の記念講演の概要です。



教育実習指導担当 河合朝晴特別教授



愛知県同窓会 藤原照明様

講演会后、大相撲名古屋場所本学出身力士激励会開催のご案内とお願いをさせて頂きました。

また、学生支援センター健志台事務室の石井優志様から学生生活についての講演がありました。奨学金制度の状況説明・学食の内容・シャトルバスの増車状況の他、学習関係では成績表閲覧及び単位取得の見方などのお話を頂きました。愛知県同窓会理事長の藤原照明様、教育実習指導担当の河合朝晴特別教授には近年の地元就職状況、教員採用試験の対策などの取組についてお話を頂きました。

その他にも今年は愛知県同窓会溝口夏樹様（平成 8 年卒業 名古屋拘置所勤務）より日常の業務及び近年の採用試験などの現状を、愛知県同窓会石場健也様（平成 27 年卒業 豊橋消防本部中消防署勤務）より日頃の勤務内容また大学在籍中に採用試験の具体的な勉強と対策などのお話を頂きました。お二人とも非常にお忙しい中、限られた時間の中で貴重なお話を頂き誠にありがとうございました。



愛知県同窓会 石場健也様



平成29年度 第24代会長 就任の挨拶

平成29年度 会長 石井 勝

「会長就任のご挨拶」

愛知県保護者会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、平成29年度定期総会におきまして、愛知県保護者会会長に就任することになりました。石井と申します皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。

役員を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。

新たな生活が始まって2ヶ月ほど経ちますが、私も3年前の3月に長男を寮の前まで送って行ったことを昨日の事のように思い出します。

親元を離れた生活は何かと心配なのは共通した思いです。お互いに手と手を取り合いワンファミリーとして子供たちのサポートをしようではありませんか。これも保護者会の役割だと思っています。

また、大学関係者の皆様、愛知県同窓会の皆様、ファンクラブ愛知の会の諸先輩方におかれましては、日頃より保護者会活動に格別なご理解とご協力賜り誠に有難うございます。この場をかりて御礼申し上げます。

今年度より国際協力、国際交流などの実践的な技術や理論を推進できるような人材を養成することを目的として新たにスポーツ文化学部2学科が開設されました。これで4学部7学科となり新時代の日体大教育を創出するために策定(さくてい)されている大学改革構想案がまたひとつ実現したのではないかと思います。スポーツを文化としてとらえた「体育・スポーツの総合大学」としてまた一步前進したと感じております。

役員を務めさせていただき4年目となりました。これまでの間、先輩役員の皆様には何かと教えていただきこのような場にいると思っております。深見前会長の後任ということで大変重責を感じております。いたらぬ点はあるかと思いますが職責を全うできるように真摯に取り組んでまいります。

最後になりましたが、在学生の支援や諸活動の援助に寄与できるように活動してまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



愛知県保護者会 石井 勝会長



新任役員 の 挨拶

平成 29 年度 副会長 片山 達仁 (1 年)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

過日開催されました愛知県保護者会におきまして、本年度、1年生の副会長を務めさせていただくこととなりました片山と申します。

4月より、息子が日本体育大学体育学部に入學し、陸上競技部投擲ブロックで夢と希望に溢れ、4年間切磋琢磨してくれることと信じています。この本会で保護者会の皆様とのご縁が繋がり、僅かながらでも何かお役に立てればと思い、副会長という大役を引き受けさせていただきました。

今後は、皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら精一杯務めさせていただき所存でございますので、親子共々、よろしくお願ひいたします。

平成 29 年度 会計 白銀 恭子 (1 年)

本年度、会計を務めさせていただきます白銀と申します。何卒不慣れですがよろしくお願ひ致します。

息子が上京して学校の様子も中々伝わって来ない中、頑張っているであろう子供達の学生生活を陰ながら応援できればと思っております。現役員の皆さん、ご指導よろしくお願ひ致します。

平成 29 年度 幹事 木村 典子 (3 年)

本年度、幹事をさせていただきます木村典子と申します。

娘は、体を動かす楽しさを教える事のできる幼稚園の先生になりたいと、椋山女学園高校より児童スポーツ教育学部に入學3年に在籍しております。

幼稚園の年中からやってきた新体操を続けるか迷っていましたが、将来出会う子供達に、続ける事の大切さを教える為に役立つ経験ができるのではないかと新体操部に所属しております。

学生生活最後に関わる機会と新しい出会いに感謝し、皆様のご指導をいただきながら務めてまいります。宜しくお願ひ致します。

平成 29 年度 幹事 久保田竜弥 (1 年)

本年度、幹事を務めます久保田竜弥です。

息子がこの4月に入學し、バスケットボール部に所属しています。私自身も本学の卒業生で、同じくバスケットボール部員でした。私が果たせなかった公式戦ベンチ入りの夢を、息子が叶えてくれることを期待しています。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、何らかの形で携わることには本人にとって大きな財産になると信じております。

微力ではありますが、精一杯尽力したいと思いますので、どうぞ、よろしくお願ひします。



平成28年度 第23代会長 退任の挨拶

平成28年度 会長 深見 和義

「退任のご挨拶」

平成28年度の愛知県保護者会会長を務めさせていただきました、深見和義と申します。昨年度は、保護者会活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

4年前に保護者会総会の案内をいただき、小・中・高校ではそういったものに一度も出席したことが無いのに興味半分で出席し、そこで役員を頼まれてしまったのが活動に関わるきっかけとなりました。最初の1年は正直申し上げて、ただ出席しているだけだったように思います。しかし、1年生の副会長を任されましたので、各種行事の皆勤を目指して頑張ってきました。特に3年生の副会長からは保護者会行事だけでなく、同窓会や本部及び他支部保護者会にも出席するようになり身が引き締まる思いだったのを思い出します。

息子も4年生になり、昨年度の定期総会でとうとう私が会長を務めることになりました。副会長として3年間勉強してきたことを踏まえ、まず広報活動の活性化を図りました。昨年度は、日体大125周年ということもあり保護者会たよりを11回発行しHPの更新率を上げました。



愛知県保護者会 深見和義前会長

おかげさまで愛知県保護者会 HP のアクセス回数は全国トップとなりました。誠にありがとうございました。

行事の方では、昨年度より大相撲名古屋場所同窓力士激励会と全国選抜大学相撲刈谷大会の応援が新たに増えました。また、初の個別相談会も開催することができましたが、時間内に収めることができず参加していただいた保護者の皆様には大変お待たせしてしまい申し訳ございませんでした。相談会につきましては来期以降の課題として、引き続き保護者会活動の発展を目指して運営していただきたいと思っております。

会長としての一年間、力不足な点もあったかもしれませんが、皆様のご協力により無事任期を終えることができました。誠にありがとうございました。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と、お子様のご活躍、そして日本体育大学愛知県保護者会の更なる発展を祈念いたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。4年間ありがとうございました。



齋藤一雄教授と深見和義前会長



懇親会・新入生保護者歓迎会写真ギャラリー

写真 顧問 深見 和義
ファンクラブ愛知の会
" 顧問 高野 徹様



愛知県同窓会の皆様



愛知県保護者会 石井 勝会長



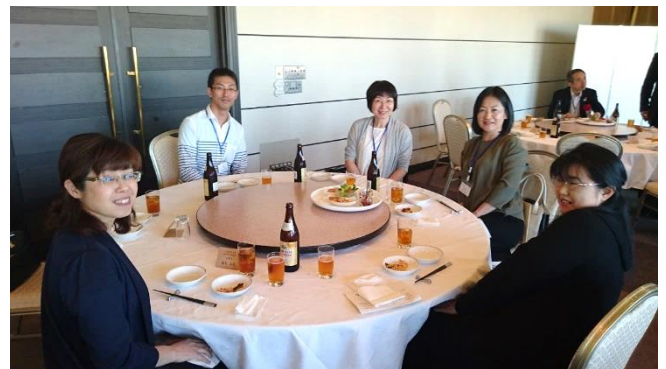
齋藤一雄教授と本部保護者会 貝塚昌通会長



ファンクラブ愛知の会皆様



保護者会役員と現役学生の皆様



保護者会役員と新入生保護者の皆様



第96回
日本体育大学
愛知県保護者会たより

発行日 平成29年7月10日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝



保護者会役員と保護者の皆様



新入生保護者紹介



保護者会新役員 久保田竜弥幹事



日体大グッズ獲得じゃんけん大会



日体大グッズを獲得された皆様



保護者会新役員
片山達仁副会長



三本締め



第96回
日本体育大学
愛知県保護者会たより

発行日 平成29年7月10日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝

編 集 後 記

愛知県の保護者会たよりは全国的に上位のアクセス数と聞きより一層皆さんに親しんでもらえる内容になるよう役員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いたします。

また今年度、総会出席に日程の合わなかった保護者の皆様、来年度開催の時はご参加いただけますようお願いしております。

(会長 石井 勝)